（五日ハ刊）

磐城新聞

休刊　大祭、第一第三日曜
定價〔壹枚二錢、壹ヶ月五十錢、郵稅十錢〕
廣告料二行五十錢（指定廿錢增）
發行兼編輯印刷人　遠沼龍輔
福島縣平町田町拾六
發行所　磐城新聞社
電話五六四番

光に縋りて

商業學校の中村先生に

小泉　貢

自分さへその落着く先の知らぬ漂浪の行にのぼりし日より數を重ねれば十幾つ萍身疲憊の足取りを懷しの鄕近くに運ばして來たのはヂキこの間のこと……

○

そしてはからざりき、空の號泣と一緒に慟哭せねばならなかつた。それは原稿と著作とが賣つて辛じて生きる三文文士の私でしたから。

○

胃腑が無闇と襲ふ饑渇の蟲けら！だが無理もないことでした、一掬の水、半片の麪麭さへ斷れてゐた私でしたから

たゞ幸福さうな團欒のさゞめきに耳朶を異常に刺戟され乍ら、頬にさつと歡喜の血を漲らせて高く繞らす腦のなかへと這ひ入つた私だが見窄らしき私の著作を暫ては、物に欠くること無きブルジョアは、たゞ侮蔑のみを與へるばかりでした

ブラバドーに滲涙し耐ね難き譏謗に魂を掻きむしりとぼとぼと歸す牆の外へ：

あゝ、ついに幸福を滿喫する人々に、第五階級の滲血の悲境は汲んで貰へなかつたのです。肩を搖る長歎息！

○

私は空一頬の號泣後、泥濘を泳いで某醫家の玄關に辿り着いた、そして私の著作を拾つて貰ふとしたつけに……

――聽て、たゝきつけられた小羊の如く悄然として某醫家の門を出たのでした

泥濘の中に萍漂する數刻！まろびつゞよろばひつゝ這ひ行つたのは商業學校でした、漸く暗き雲の下に迫るツワイライト幾度か躊躇逡巡、ようやく決して事務室らしきルームへとは入りいつたのでした

○

ガツキと抱く同情のすくひ！誰がそれを豫期しようぞ、その抱擁を！

○

おお、それは儚きイルジヨンか、つゞくはディスイルーヂヨンだつたか？しからずしからず、たゝ、それはうれしき現實だつたのです。

そこには疲憊、軀を憩う椅子も與へられたのでしたわね、空き腹を滿す匙と料刀との食も惠まれたのでしたわねえ。

腹の底からこみ上げて來る熱涙游汰頬を湲れたのも先生は決して見逭しはしませんでしたらうねえ、永らく求めて得られなかつた綠茶の一杯、魂のすゝりなきをきゝつ綴つたのも先生は知つてますわね。

○

中村先生……

プロレタリヤの地下線に息づく私たちにとつて、一掬の同情はどれほど感謝されることか。靴尖を戴きて接吻を求めてやまぬ心です

遮に無に辿る藝術道に惟悴する私たち、たゞ生きる丈ならどうにかこうにか遣り繰れそうです。しかし燃す藝術の炬火を奈何しませう。さすればこそ殘飯殘床を貪り歩く乞食に等しき自分自身を見出す悲哀もまざまざなのです。その私たちにとつて、先生のやうに第五階級の滲血悲境をご理解下さる方が「ゐらしることは何麼に力強いことか、ひかりです。（一九二八、七四の晨午前三時）

鮫川疏水問題

小名濱　小野生

◇假りに復活事業を着手するとせば第一に決定を與ふべきものは水利權獲得せる會社に向つて水利權の取り消してある、之は組合自身には、何等權能はないのであるから縣知事の英斷に待たねばならぬ、次には組合員自身の工費負擔である是れも水利權を與ふるが爲めに、工費の寄附金を目當てとして棚牡丹餅的慾望は事業遂行上最も下々の策である

◇然らば其工費は云ば此事業の性質から見て縣營として、遂行する場合、縣耕地課に屬する農土木屬する事業として、當然耕地課の設計を基礎としなければならぬ、最近本縣耕地課長遠藤正寬氏の實地踏査に依り、得たる談話に依ると實に尤の通りである

◇本縣耕地課長をして一度、疏水事業を調査し係作氏、申譯けがたい、本疏水は其水源に於て水量豐富にある、而して其水路の開鑿も技術幼稚の時代としては上出來である、唯工費が追加追加となつた關係上、幾多の彌縫的工事の跡が歷然として居る時に今日於て之が復活は易々たるもので、その工費の如きも縣營にて遂行するとせば、補助がある、縣費二割は國費より全工費の二分の一既定的補助である然らば假りに百萬圓の工費を起すとせばその二分の一五十萬圓は國補に依りて之を造り、縣は二割即ち二十萬圓を得る國縣の七十萬圓、即ち全工費、七割を得る譯けである、殘三十萬圓が組合の負擔であるから總額に對し、三分の一に達せざる組合負擔に依つて完成する工事は是が非でも遂行せねばならぬ、現在出來て居る工事費三十四萬圓內外であるが實地踏査より得たる智識より見て、更に工費の增額は免れぬが完全なる疏水々路となり、更に小名濱商港、生命ともなる、水道も此事業復活により四五個の水量は、容易に供給を得る見込み充分であると云ふのであつた

◇此遠藤課長の聲明は、實に晴天の霹靂とも云ふべく、寧ろ一大福音であつて其當面の責任歸着點か亦耕地課にあると云ふに至りては、此聲明こそ萬鈞の力を有するものである、而して新知事にして利權屋本業某會社の獲得せる、水利權を取り消すに於ては本事業の將來は尤も早く實現可能のものなる事を悅ぶものである

◇仄聞する所によると、香坂知事時代に於て彼の會社に對し水利權取り消しの處分は決定し知事の決判を以て大團結を見るに至りし際に一夜にして決判不能と化したと云ふ事である、此れ云ふまでもなく政黨者流の魔手が、延びた事を想像さるゝが果して然るさせば斯る事業に對しては政黨政派を超越して其權能を遂行させる必要がある、加勢新知事にして此間の消息を知るならば、栽然たる英斷を以て二町四ヶ村七百町步の耕地に對し國家的產額の增大を圖ると共に、途炭に苦しむ關係町村民をして、救出するの道を講せられん事を、關係町村民に代つて一言を呈したい次第である

（完）

※……※
明日の吉凶
※……※

舊曆五月十九日　新曆七月六日

▲一白　物事我が身邊は離れて人の手中に移り易し▲二黑　運氣はよき方なれども突進すれば誤り多し▲三碧　內に案せらるゝ事多くして外に伸びざる日▲四綠　目上を大切にし援助を離れぬやうにすべし▲五黃　七分まで達して跡三分に苦しむ捗らぬ日▲六白　尻押してもらふもの出來て面白く捗る日▲七赤　一家協力して事に當れば外敵皆去るべし▲八白　渾身の精力を出して屈せざれば成功すべし▲九紫　新しき事を企つるも既成の業を擴げるにも吉

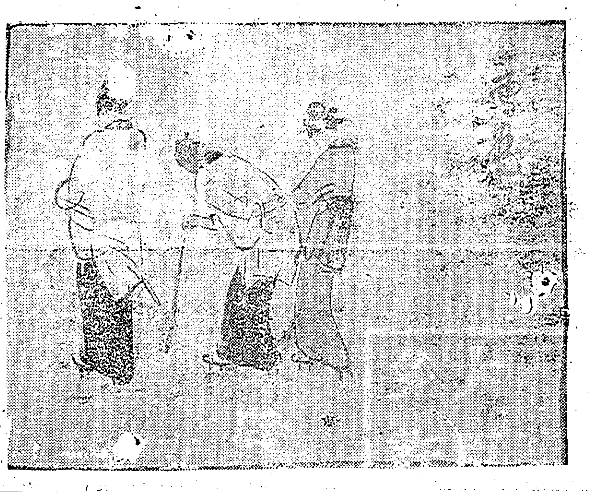
平町舊城跡
青沼醫院
電話四〇三番

講談

闇に閃く男達

（132）

高田　涙川作
尾崎　雪齋畫



赤穗の藩士でせう

立ち現はれたのは立派な武士であつた

「あなたは小林樣……」

仲間二人はかしこまつた

「拙者は小林平八郎と申すものこれなる仲間二人は拙者見知りの者酒の上より老人に無理難題を吹きかけしものと見ゐる、御老人平にお許し下さい又それなる御方御立腹なきよう、サア與中、友平拙者について參れ」

とそのまゝサッサと引き上げてしまつた

老人と婦人は金五郎に對し

「難儀な所をお助け下さいまして有難う存じました」

「何御禮を受ける程のこともごせえません、わつちは村雨金五郎と申しちつとやそつとは男を賣るものゝ些いなことに因緣をつける仲間が小づら憎く、その上吉良と云ふ名が癪に障つてなんねえからあんな仕儀になりました」

「コレハ〱あなたが五郎親分ですか拙者は小山田喜隆、これなるは娘つると申すもの厚く御禮を申します」

おつるもていちように禮を云ふ

「その樣な御禮では却つていたみ入ります、小山田さんとやらさお參らうぢやありませんか」

「金五郎さん拙者は回向院の附近にをりますでどうかお構ひなくお先へお出で下さい」

「何、あなたは回向院の附近にお住ひですつて、ぢやわつちの住居の近くですなちつとも存じませんでした」

「親分さんは回向院近くで御座いますか」

おつるも云ふを入れた

「左樣つまらねえ宅ですがこれを御緣に又ちよい〱お遊びにお出で下せえ」

「有難う存じます」

「御老人、ぢや御一緒に參りやしよう」

「では御供いたしませうか老人と女の足では御迷惑でせうが……時に金五郎親分あなたは先刻吉良が癪にさはるとおつしやつたは何か因緣でもあつてのことでしたか」

「ハ、ア、あれですか實は御老人が吉良家の仲間とききかれきづとたなりになつた樣子を見て淺野家に御關係の方ぢやないかと推察して實はわつちの父も元は赤穗藩の祿をはんだことのある飯島左門と申します」

「コレは意外、金五郎殿は飯島左門殿の御子息でありましたか、飯島殿とは拙者も別懇にしておりました。して現在は親御と御一緒に」

「イヤ父はその後敢ない最後を遂げ、その遺言により淺野家、別して大石殿の厚恩に酬ゆべく先回山科に參り大石殿に面會せしも何等眞實をお明かし下さらずスゴ〱立ち歸つて參りました」

「左樣でしたか」

「しかし小山田さんは定めし赤穗でごせえやせう、わつちも男を磨く稼業、決して他人に告げることぢやごせえやせん、どうかお明かして下さい、いたらぬやつこでごせえやすが又御相談相手になることも御せえやしよ」

「コレハ〱金五郎殿お目か高い、いかにも拙者は赤穗の藩士御家大變の後これなるおつる婿和泉の彌助と共に回向院橫の裏町で煙草を商つてゐる者の宅で厄介になつてをります」

「さうですか、今後は時々わつちの宅へお出で下せえまし」

「有難う御座る、またお邪魔にまかり出でませう……しかし先刻小林平八郎なる武士が吉良家のなか間を引き連れサッサと引き取つたはどう云ふ心底であつたかあの人は吉良家に召抱ねられたると聞くかどうも腑に落ちぬ金五郎どん何と思はるゝか」

二人語りながら歸つて來た

吉田眼科醫院
廣告

◇浪界の横綱
木村友衛
◇近日來演
平町
某座に

釀造元
清世界　吉
銘酒
各炭鑛御用達
石城小名濱町
清水屋
小野晉平
電話六番

◆期待の名編遂に大公開◆
連續第二編
江戸三國志
故尾上松之助遺寶秘書
正木大膳　監督辻吉郎
鳩使ひの女
中村吉十郎、片岡松燕
古川城主足利政氏は次男義明に世を繼せんとする義明の兄高基は之を深く怨みて父に弓を引く…義明亡びて安房の里見家を賴る…玉照姫、白瀧姫の戀の爭奪…里見家の大忠臣正木大膳の出現……
定評ある日活軍事大活劇
生還
地上に戰禍、人生に死、平和は永遠に理想なり、愛の力、それは何時の世か世界和を現實化すであらふ、列車內に結ばれた夫婦、夫山田作太郎が滿州の野に、妻お國は夫の身を護る可く自己の肉体の一部を割いて與へた
七月五日より寫眞替り……土曜日學生デー
高級常設　平舘
電（四六六）

野馬追團体募集
七月十二日午前六時出發
定員　七十八人
會費（晝食附）四圓
往復共自動車
尼子亭自動車部
電話六四〇番

平町田町
高久病院
電話五〇三番
醫學士　高久忠
新潟醫學士　赤羽清
藥劑士　佐竹菊雄
內科小兒科、外科花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科

生花教授
池ノ坊流　生花を懇切叮寧に御敎授いたします、お遊びがてら御出で下さい
平町五丁目（釜屋横町）
須藤まつの

賣切御禮廣告
先般セイコー抽籤付腕時計賣出中の處御引立に預り全部賣切申候此の段御厚禮申述べ候
大谷時計病院
三丁目（電話一九番）
各位

夏衣大廉賣
音曲諸流家元推薦スター好み
一萬圓懸賞付
表現ゆかた地競技會
太平洋横斷飛行模樣
三大提供
麻かや　六、五〇
手拭中形　、七〇
大典紋り　一、二〇
夏の御買物は何卒三井へ
來る七月一日より
平の三井

醫院開始
內臟外科
外科一般
花柳病科
平町田町大通り
安齋外科醫院
電話四三六番

愼重審議を理由に
本會七日に延會
直ちに全員委員會に移り
敷地最後の斷案協議

全町注目の焦點たる第三小學校敷地決定　最後の運命を決すべき本町會は既報の如く今五日午前十時から開會同樣本第一號議案に於いて本署、官私服警官の物々しい警戒裡に開會したが開會と同時に細納議員は本案は重要問題なるが故に愼重なる調査協議の必要ありとの理由に依つて本會議を來る七日午後一時に延會し緊急動議を提出し滿場一致で本會議を七日午後一時延會に決定したが直ちに全員協議會に移り第三校敷地の最後の斷案を秘密裡に協議する事となつた此れより先南裏派並西派の兩派からは前回に倍して數百の傍聽者が押寄せ不穩の空氣を漂はせ更に既報の如き妥協案提出さるものと豫想されて此の妥協案に飽足らずと爲す強硬派まで臨時議場に詰かけて平町會未曾有の混亂を呈するのではと觀測されたが前記の如く七日に延會に決定するや傍聽者數百は無事穩裏に退去した尚ほ全員協議會の協議內容は不明であるが何等かの條件を附して委員會案を承認するものと觀られてゐるが南裏派一派は徹底的に初期の目的を遂すべく猛運動を繼續してゐるから敷地決定までは相當の曲折あるものと豫想されてゐる

鮫川大瀧の
鱒漁
今年は不漁

上遠野村鮫川大瀧に於ける名物鱒漁は、大岩壁に樹木鬱蒼し、奇岩怪石カジカの音、流行のサツキの滿開、百雷一時に落つるが如き大瀧は實に仙境に遊ぶの感あり、此大瀧に登らんとする鱒をすくひ取る、鱒漁は又壯觀であるが本年は極めて不漁であるが、岩間のサツキ採取がてらに杖を引く者頗る多く鱒漁は少なくも瀧壺に屯する、鮎漁は多く鮎の石燒にメートルを擧げる連中が多い、尚鱒漁の少なきは大敗網等の出現によるものなると

商港の實現に
猛運動を開始
知事の視察に力を得た
小名濱有志が

石城郡小名濱町では商港實現の促進運動を行ひ曩きに有志が上京、主務省に對して猛運動をなしたが運動の結果について前縣議小野晋平氏は「今度議會には必ず豫算案を提出する事になつた、議會さへ通過すれば商港の實現は確立した事になるので吾々は今一段の運動をして議會通過の運動をする考へである」と語つてゐたが三日小名濱港を巡視した加勢本縣知事は實に有望な事業であるからあらゆる努力をする旨を言明してゐるので地方民は非常に力を得、商港實現促進の猛運動を續けて由であるが、知事は港灣に關しては興味を持つてゐると語り特に初巡視には土木、水産兩課長も同伴してゐるので小名濱港問題については相當信念を持つてゐるものと見られ地方民は同知事の援助を得て之が實現を確立的のものとすべく努力する事になつた

郡南の
春收繭
成績頗る良好

郡南菊田の物産として誇り植田驛重要物産石炭、砂利、木炭、木材、生繭と其發送噸數に於て第五位を有する收繭は春繭、秋繭合計四萬貫、蒟蒻病害發生と共に擡頭せる養蠶は實に地方農村盛衰に關係するものである、本年春繭は漸く去る廿日を以て大体終局し、植田町各問屋は勿論公設繭糸市場も卅日を以て閉鎖せられた、同市場談によれば本年春繭は天候順調と發育良好に加へて桑葉伸長佳良のため良桑を充分に與ひ上簇中も天候良好なりしため、いづれも良繭にて繭々顏であつ、高値七圓四十七錢山田村木內善次郎氏が最高値で最低は四圓五十錢、平均六圓八十錢、植田市場外二三問屋總計買入收繭約二萬貫拾參萬六千圓の金額に上る從來生繭買に就ては閑却され、殊に郡南菊田方部に於ては等閑に附し有力家はいづれも仲買者に一任されてありし爲不正取引等も少なからしが、植田市場の出現と共に一掃され且つ各方面の問屋來植に自然競買し生産者の福利を增進せしめて爾來六ヶ年漸く地方有識者の知る處となり本秋よりは同市場現金取引優等品彰賞等實行する由である

今秋平町に集まる
縣下の優良清酒
御大典の記念奉祝で
各釀造家意氣込む

石城郡地方の酒造家は縣下聯合清酒品評會が今秋十月下旬平町に開催される事になつてゐる事でもあり殊に御大典の行せらるゝ永久に記念すべき年なので本年の品評會にこそ高位に入賞せしめねばならぬと既報の如く素晴らしい優良酒釀造に意氣込んで來た結果平稅務署において査閱中の本年の管內清酒は何れも優良酒揃ひでこれまでかつて縣下品評會にては二等以上の入賞の出來なかつた石城銘釀も本年こそは一等に入賞は容易なるのみならずあはよくば優等酒に選拔される事も出來ようと當局もわがものゝ如くほく〳〵してゐるが然し昨今同樣の酒質で今秋まで維持出來得るか否かは疑問で大体大なる變化はなきものゝ如く見てゐるがその結果に就いてはいまだに言明出來ない然し既に火入れを行つた清酒についての初呑切は入梅あけを待つて行ふ筈であるから略これに依つて大体の豫想もつく譯であるが桶の手入その他に原因して酒質を惡化させる事あり大に注意を要するものであるが如何に結果が充分でないからと言つても本郡ものゝ最高位は縣下を通じて五六位までには入賞が出來るであらうと平稅務署の幡永間稅課長は語つてゐた

風呂場で縊死
病弱の炭礦雜夫

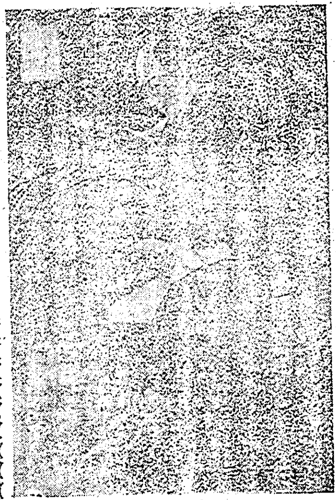
石城郡內鄕村大字白水字白畑加納炭礦雜夫高原留太郎(四二)が三日午前一時頃自宅風呂場の天井に麻紐をつり縊死を遂げてゐたのを兄重吉が翌朝發見平署から係員出張檢視を行つたが原因は不治の腦病を悲觀の結果であると

盛會を豫想される
スポンヂ野球大會
年齡資格制限なく
平町居住者ばかり
來る廿一二日

平町野球聯盟では近年當地方に於ける野球熱の低下から回復すべく種々計畫中であつたが愈々來る廿一日（土曜）廿二日（日曜）の兩日に亘り全平町スポンヂ野球大會を擧行する事となつた即ちスポンヂ野球大會は平町全町各方面からの出場を歡迎し年齡に制限なく小學チームから老年チーム全部を網羅し平町に在住する者は全く參加權を有し服裝の如きは運動に適するを以つて佳とする等野球界未曾有の擧であるだけ當日の老年チームや小學チームの珍大會は今から頗る期待されてゐる、前の如き制限ない結果鐵道、小學、郵便局其他各チームから續々申込るが參加希望チームは來る十八日までメンバーを添へて大塚運動具店宛申込れたいと

新映畫

マキノ映畫—
仇討世相錄
片岡千惠藏松浦築枝主演



マキノ映畫「仇討世相錄」

夫婦養子の吉良崎莊馬と妻の藤代は事毎に養父母からつらく當られた、ところが或る日養父が人手にかゝつて殺害された莊馬夫婦は仇討の旅に出たしかしそれは世の常の仇討の旅の味ではない、籠を放れた小鳥の樣に初めて自由に水入らずの樂しい旅であつた、其の道中南鄕忍といふ武士の危難を救つた、南鄕は二十年間敵を探し廻つて居るといふ男で「其の半生は仇討のために過して來ました仇討の苦を語る者とその旅を樂しむ者、そして遂に莊馬は敵と廻り合ひ仇を討ち取つた、而し夫婦は再び養家に歸ることをつらく思つた、「身共の敵は現はれずとも御身の敵が現はれゝば良かつた」…これが莊馬が南鄕に言つた言葉であつた。

「續水戶黃門」
大好評
初日に一萬圓

日活超特作映畫「續水戶黃門」は十五日から富士館、神田日活館に封切公開されたが、開館早々滿員札をかゝげ富士館は一日に一万円近くの素晴しい好成績を擧げた。

ゴシップ
佐藤監督が
看・病
負傷した田三郎を

帝キネの佐藤監督は田三郎が負傷した爲め「煙草屋喜八」の撮影を中止して紋十郎、延松主演の「珍魚」の撮影完成整理中だが田三郎を負傷させた責任觀念で忙しい中をさいて田三郎を枕頭に慰め自家へはほんの寢るだけ歸る位で付き切りで何彼と世話して人々を感心させて居る、因に鷲尾は佐藤監督の鬼門で「殺生關白」の時は自分の足を挫いて撮影を中止して大騷ぎをし今度は田三郎の大怪我だから三度目を非常に氣にして居るといふ。

磐城、平の兩銀行
合同交涉遂に決裂
磐城銀行は直ちに
有力銀行との合同に邁進

去る五月廿二日休業を發表以來整理を急いでゐた磐城銀行は縣當局並に日銀等の慫慂に依つて各銀行との合同をなすべく屢々接涉を重ねて來た結果去る三日兩行代表者が磐銀樓上に會合五ケ項に涉る平銀行提案の合同案に對し協議したが兩行の意見一致せず遂に合同問題は決裂するに至つた此の磐城、平兩銀合同不調の結果磐銀は直ちに某々有力銀行との合同に邁進すべく運動を開始した

平弓術競射會
八日驛構內弓場

平驛構內弓道奬勵會主催の弓術競射會は六日午前九時三十分から平驛構內道場に於いて開催される筈で競射は尺二的十二射で時間の都合により餘興射を行ふ筈で

デットボール
縣下大會
愈々來る八日
第一校庭で

平第一校並に國民新聞社主催縣下小學校デットボール大會は既報の如く來る八日午前八時半から平第一校庭に於いて盛大に擧行されるが參加組數實に數十組當日の盛大は今から豫想されて前人氣を煽つてゐるが賞品は左の通りである

一等上等桐簞笥一棹、二等上等絽袴地一反、三等上等南部鐵瓶一個、以下三十等迄

平局去月中の
取扱概數
貯金の預入
十萬圓に達す

平郵便局に於ける去月中の取扱概數は次の如くである

△通常郵便物引受二十萬五百四十七、配達二十一萬四千八百七十九通△並通小包引受一千百廿七、配達二千七百六△電報發信四千三百九十三通、着信三千九百八通△電話市內總呼數十八萬三千六百六十通話△爲替振出千五百十六口三萬六千二百二十一圓三十六錢拂出千七百五十六口三萬七千百十六圓△郵便貯金預入七千五百八十四口九萬九千三百七十圓二十錢拂戾千百一口三萬七千八百五十五圓五十六錢

即ち銀行界の不安狀態に依る結果同局の貯金數は實に半月の約三倍十萬圓にも達せんとしてゐる更に△簡易保險契約申込二百五十九口△郵便年金一口と言ふ狀態である

娘の歸途を擁して
アワヤ落花狼籍
目的を遂せず所持品を強奪
犯人直ちに捕はる

三日午後九時頃石城郡錦村字馬場小銀治とみ(二三)は所用の歸途同郡勿來町字南田地內を通行中背後から突如一名の怪漢が躍りかゝり悲鳴をあげる同女を街路右側の松林に擔ぎ込み暴行を加へんとしたが極力抵抗されたので怪漢は目的を遂すこと不可能と見てか持つてゐる衣類在中の風呂敷包みを強奪逃走した、屆出により所轄植田署で犯人搜査中の處右犯人は勿來町魚行商人青木市吉(二〇)と判明自宅に潛伏中四日朝捕へられた

磐城高女の
海岸水泳場
八月中に開く

縣立磐城高等女學校では本年も夏期休暇中に生徒の水泳練習を行ふ豫定で中川教頭以下三名の職員が勿來海岸より小名濱海岸に至る間に水泳場に好適せる海岸を決定すべく四日その實地踏査を行つたが開期は從來より一二週間おくれて八月初中旬の十日間を選ぶ樣になるであらうと

平稅務署管內の
酒造稅廿萬圓餘
一軒平均にして四千圓
最高納稅は二萬千圓弱

本月納期となつてゐる平稅務署管內酒造家の酒造稅は酒造石數二萬千二百五十石と燒酎六百七十石中の三百十三石分にて合計二十萬千六百四十一圓となりこの納稅者四十九人にて平均一人當りの稅額は約四千圓となる譯であるが最高は馬目太平治の二萬二千七百五十圓五十二錢で小野晋平氏の一萬百三十四圓がこれにつぎ他は何れも一萬圓以下であり最低額は木田令子の千二十一圓であるが昨今の同地方財界の大勢より見ればこの巨額なる稅金が果して好結果に完納され得るや否や稅務當局及一般が興味を以て見てゐる處である

社總代改選
好間村

は去る二日同村鄕社熊野神社々總代改選の結果下好間叶名清、中好間木田照茂、上好間齋藤林太郎、同鈴木精平の六氏當選した

本度半ケ年の
平の人口動態
百十一人の增加

平町に於ける一月から六月末日までの六ケ月間の出生、死亡、婚姻、離婚件數は左の通りで半ケ年で百十一の人口增殖を見てゐた譯となる

△出生本籍二九九人、非本籍百五十六人△死亡本籍二百三十三人、非本籍百十一人△婚姻本籍百十四件、非本籍二十四件△離婚本籍十一件、非本籍なし

妻を細繩で縛し
庖丁で頭髪を切斷
六十の魚屋老爺が
今朝自宅で

平町鎌田町二十八番地魚商辻政五郎(六〇)は今五日午前七時頃些細の事から妻マツ(三八)と口論し揭句の果てにマツを細繩を以つて柱に縛り付け悲鳴を上げて泣き叫ぶマツを手頭の泥棒で滅茶苦茶に殴打遂に菜切庖丁でマツの頭髪を切斷したのを所轄警邏中の平署池津巡査が發見本署に引致の上嚴重取調中であるが政五郎は變態性慾者であるらしく常に燗、虐待しては慘忍な快樂に耽つてゐたものらしく六十老爺が此の慘忍な行爲をなす事は珍らしい事である

平藝妓肥滿番附

蒙御免

行司　品澤　小光　三島家　八千代

東の方			西の方		
横綱	品澤	小金	横綱	野口	政吉
大關	谷口	英勇	大關	品澤	まり子
關脇	福清	壽代子	關脇	橘	千代助
小結	三好家	小高	小結	林家	榮太郎
前頭	仲家	壽美藏	前頭	開花	高助
同	林家	玉枝	同	玉川	喜代治
前頭	谷口	千代駒	前頭	久本	あたり
同	三好家	よし子	同	吉の家	長松
同	甲子	升美	同	仲家	福助
同	林家	友江	同	山形家	君香
同	玉川	小糸	同	湖月	小南
同	二葉家	松葉	同	開花	花子
同	竹の家	おかる	同	湖月	文助
同	野口	〆太	同	竹の家	小つや
同	榮家	園江	同	竹の家	福奴
同	福清	とん子	同	久本	玉子
同	米京	米太郎	同	榮家	榮
同	玉川	政榮	同	叶家	照子

かみくづ

◇藝者はそれ〴〵穴があつて、獲物があるとその穴へクワ●●へ込むと云つたら狐か狸、樣で動物あつかひにするのを怒るだらうが、毛のあるからケダモノで毛のなかつたらカワラぢやないか、そう言へば妻子に前それがナイちうんぢやネエか、ア痛イ、そうら嚙み付く處…ケモノの本性、モウ[illegible]發◇ニツ「藝者と其の穴」と題して解放的なアマリ解放的な處を一ツ、スッパ拔いてやらうか冗談ぢやない九月から實施になる花柳病の豫防法の豫備なもの其の穴とアナが違ふぜ◇今度平野球聯盟がスポンヂの野球大會をやるんださうだが僕らも一ツやつて見たらどうだへ、ナニやりたつてちやたれがメンバーをつくつてやらう◇さしづめ正投手は三好家の光惠補に榮あたりを持つて行こう次は問題のキャッチだがこれは大分適任者があるやうだ、玉うけのうまいのは榮に小染、お蝶、こう數へると中々際限が付かないから◇誰れかれと言ふよりいそ金時お前がやれよ、ナニキャッチなら玉を受けるてせう、そんな姿し上ヨッて偉張つてやがる、ツともゆうべだけで三回玉をうけたと言ふからな…

文藝原稿募集

△創作、戯曲、詩、和歌、俳句其の他文藝作品を募集す

規定

十二字詰三百行以內

磐城新聞社